

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、鯨ヶ沢町でも事前防災対策を進める必要がある。鯨ヶ沢町には、中村川水系など全3水系の二級水系があることから、それぞれの流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、鯨ヶ沢町全域において浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・樹木伐採・河道掘削
- ・既存ダムにおける事前放流
- ・土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留

■ 被害対象を減少させるための対策

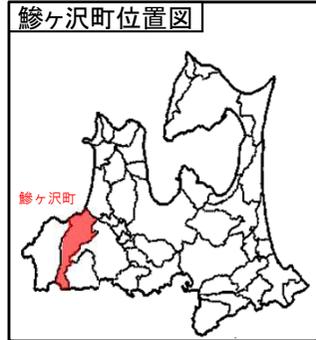
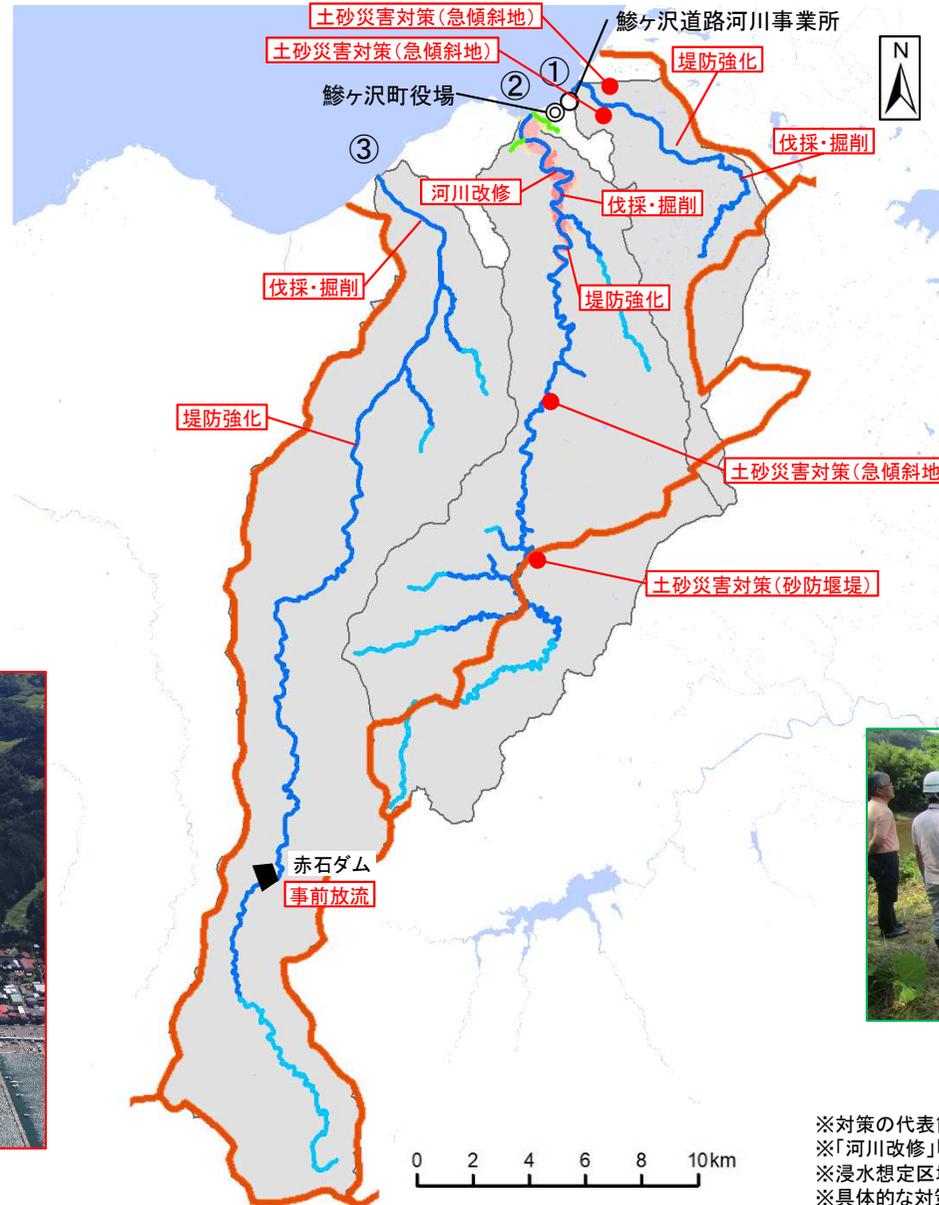
- ・盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

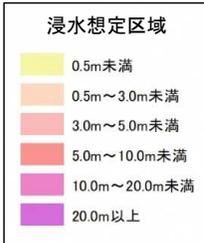
- ・円滑かつ迅速な避難のための取組
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・被害軽減のための取組
(水防体制の強化 等)



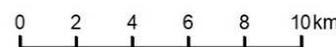
中村川



- 鯨ヶ沢町位置図
- ① 鳴沢川水系
 - ② 中村川水系
 - ③ 赤石川水系



合同巡視実施状況



※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。
 ※「河川改修」「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。
 ※浸水想定区域は洪水予報河川および水位周知河川を表示している。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

鱒ヶ沢町を流れる3水系の流域全体を俯瞰し、県、町、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 樹木伐採・河道掘削の集中実施、土砂災害対策の実施。既存ダムの事前放流、森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。
【中長期】 土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修	県	中村川	
	樹木伐採・河道掘削、堤防強化	県・町	集中実施	
	既存ダムにおける事前放流	県 等	赤石ダム	
	土砂災害対策	県	砂防堰堤、急傾斜地対策	
	森林整備・治山対策	県・町・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	水田貯留	県・町 等	実施に向けた調整・検討	
被害対象を減少させるための対策	盛土構造物の保全	県・町	道路盛土 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・町・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・町	水防体制の強化、町庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。